

# 平成 27 年度 第 2 回協議会資料 目次

## 平成 27 年度 事業報告

作品.....	1
(1) 収集.....	1
(2) 展示.....	2
(3) 貸出.....	3
展覧会.....	4
(1) 特集展 川口起美雄 - 絵画の錬金術師.....	4
(2) 企画展 京都市美術館名品展 美人画の 100 年.....	5
(3) 企画展 ペコちゃん展.....	7
(4) 特集展 生誕 100 年記念 写真家 濱谷浩展.....	9
(5) 企画展 画家の詩、詩人の絵 絵は詩のごとく、詩は絵のごとく.....	10
(6) 特集展 新収蔵品展 特集：石田徹也の世界.....	11
(7) ロビー展 前田哲明の彫刻 Recent Work—.....	12
(8) 特集展 知られざる名品 サラリーマンコレクター わの会展.....	13
(9) 特集展 春の所蔵品展 - 物語る絵.....	14
教育普及.....	15
その他の事業.....	20
(1) 事業.....	20
(2) 団体向け研修・体験プログラム.....	23
(3) 実習および職場体験受け入れ.....	24
(4) 定例会議.....	25
(5) その他.....	25
施設利用者等の統計.....	26
(1) 展覧会.....	26
(2) 貸出施設.....	26
施設の管理.....	28
(1) 防災訓練.....	28

## 平成 28 年度 上半期事業案

展覧会.....	29
(1)企画展 アーティスト in 湘南 萬鉄五郎×岸田劉生 その仲間たち.....	29
(2)企画展 北海道立近代美術館所蔵 華麗なるガラス工芸の世界.....	30
(3)企画展 不思議なアート トリック トリック ハット！トリック.....	31
(4)企画展 アーティスト in 湘南 田澤茂と石井礼子.....	32
教育普及.....	34

# 平成 27 年度 事業報告

## 作品

### (1) 収集

#### 寄贈作品

NO	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	材質	員数
1	芥川 麟太郎	樹	2000 年	161.0×36.0	鉛筆、水彩、コンテ、色鉛筆・紙	1 面
2	芥川 麟太郎	樹	2000 年	153.5×39.0	鉛筆、水彩、コンテ、色鉛筆・紙	1 面
3	伊東 深水	春の雪	1930-32 年頃	118.4×36.2	彩色・絹	1 幅
4	井上 三綱	昼	1938 年	117.0×69.0	油彩・キャンバス	1 面
5	井上 三綱	巻貝の夢	1955 年頃	59.0×76.5	油彩・紙	1 面
6	籙木 清方	小園夏趣	大正 13-昭和初期	129.0×35.0	彩色・絹	1 幅
7	川口 起美雄	1951	1985 年	162.0×162.0	油彩、テンペラ・板	1 面
8	高良 眞木	浜田糸衛像	1957 年	35.7×25.0	鉛筆・紙	1 面
9	小林 観爾	軍鶏	大正末期～昭和 12 年	129.7×41.8	彩色・絹	1 幅
10	菅野 陽	自画像	1939 年	46.5×36.5	彩色・紙	1 面
11	菅野 陽	子供と乳	1948 年	45.8×33.8	油彩・キャンバス	1 面
12	菅野 陽	ともだち	1949 年	45.8×33.8	油彩・キャンバス	1 面
13	菅野 陽	4 くみのきんぐとくいーん	1976 年	22.4×17.0	銅版・紙	1 冊
14	難波田 龍起	詩画集「蒼」	1981 年	23.3×37.0	銅版・紙	1 冊
15	野口 謙次郎	初夏之奥入瀬	昭和初期頃	124.8×35.3	彩色・絹	1 幅
16	平野 杏子	静寂	1963 年	80.5×100.0	油彩・キャンバス	1 面
17	平福 百穂	水郷	1919-1933 年	133.5×33.0	彩色・紙	1 幅
18	筆谷 等観	初夏	昭和初期頃	134.5×42.0	彩色・絹	1 幅
19	山下 大五郎	田植え前	1934 年	23.8×33.0	油彩・板	1 面
20	山田 耕雲	紅葉青佳	大正～昭和 10 年	139.3×51.4	彩色・絹	1 幅
21	四方田 草炎	黄菊	昭和戦前期	125.0×35.8	彩色・絹	1 幅
22	渡辺 省亭	ときわ雪行の図	明治中期	101.0×34.6	彩色・絹	1 幅

#### 寄託作品

NO	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	材質	員数
1	速水 御舟	聖上御閲兵	1932 年	25.8×22.1	素描・紙	1 面
2	速水 御舟	椿図	1934 年頃	28.8×20.4	素描・紙	1 面
3	宮川 慶子	聞こえる	2015 年	h39.5	石塑粘土、油彩	1 体

## (2) 展示

当館展覧会において下表のとおり作品を展示しました。

NO	種別	展覧会名	総出品点数	うち所蔵・寄託	うち借用
1	特集展	川口起美雄 - 絵画の錬金術師	104 点	0 点	104 点
2	企画展	京都市美術館名品展 美人画の 100 年	62 点	0 点	62 点
3	企画展	ペコちゃん展	157 点	0 点	157 点
4	特集展	生誕 100 年記念 写真家 濱谷浩展	134 点	100 点	34 点
5	企画展	画家の詩、詩人の絵 絵は詩のごとく、詩は絵のごとく	258 点	5 点	253 点
6	特集展	新収蔵品展 特集：石田徹也の世界	40 点	40 点	0 点
7	ロビー展	前田哲明の彫刻 - Recent Work -	4 点	0 点	4 点
8	特集展	知られざる名品 サラリーマンコレクター わの会展	146 点	1 点	145 点
9	特集展	春の所蔵品展 - 物語る絵	34 点	34 点	0 点
計			<b>939 点</b>	<b>180 点</b>	<b>759 点</b>

### (3) 貸出

開催展覧会の内容や意義、開催場所の設備・環境、作品の状態や当館での利用予定などを考慮し、下表の通り作品を貸し出しました。

NO	貸出先	展覧会名・会期	点数	作家・作品名
1	京都市美術館	「日本の絵 執拗低音」 4月7日～4月26日	2	三瀬夏之介「だから僕はこの一瞬を永遠のものにしてみせる」「空虚五度」(寄託作品)
2	兵庫県立美術館	「堀文子 一所不住・旅」 4月18日～6月7日	1	堀文子「早苗の頃」
3	大分県立美術館	「モダン百花繚乱 大分世界美術館」 4月24日～7月20日	1	内田あぐり「私の前にいる、目を閉じている」(寄託作品)
4	世田谷美術館	「速水御舟とその周辺」 5月2日～7月5日	15	今村紫紅「水汲む女・牛飼う男」「入る日・出る月(小下絵)」、黒田古郷「鳩」、速水御舟(寄託作品)「夏草」「紅海」「ベスピオ火山」「アシジ遠望」「アシジにて」「アシジ聖フランチェスコ大修道院」「フォロ・ロマーノ近きバジリカにて」「イタリアにて」「コモ、ナッタ街にて」「コロポ港、雨」「香港落暉」「船上にて」
5	武蔵野美術大学美術館・図書館	「日本近代彫刻展」 5月25日～8月16日	5	横田七郎「干物(めざし)」「静物(干物)」「静物(カタクチイワシ)」「静物(豆)」「静物(骸)」
6	萬鉄五郎記念美術館、茅ヶ崎市美術館	「棟方志功 萬鉄五郎に首ったけ展」 7月4日～8月30日、9月6日～11月3日	3	萬鉄五郎「風景(塀の見える風景)」「宙腰の人」「富士(砂丘風景)」
7	碧南市藤井達吉現代美術館、姫路市立美術館、足利市立美術館、北海道立函館美術館	「画家の詩、詩人の絵」 9月19日～11月8日、11月17日～12月20日、2016年2月13日～3月27日、4月9日～6月12日、6月18日～8月7日	5	萬鉄五郎「雲と裸婦」「茅ヶ崎風景(海岸風景)」、瓜南直子「夜の図鑑」「あきつしま」「望月」
8	式年遷宮記念神宮美術館	「永遠の煌めき一次世代へつなぐ心と技 -」 10月9日～11月10日	1	中村貞以「蛭」
9	調布市武者小路実篤記念館	「我が家の実篤作品展」 10月24日～12月6日	1	濱谷浩「學藝諸家 高村光太郎」
10	新潟市美術館	「開館30年記念 川村清雄展」 11月3日～12月20日	1	川村清雄「滝」
11	東京国立博物館	「生誕150年 黒田清輝 日本近代絵画の巨匠」 3月23日～5月15日	1	黒田清輝「波打ち際の岩」
12	東京国立近代美術館	「安田靉彦展」 3月23日～5月15日	5	安田靉彦「宇治合戦図」「相撲の節(最手)」「宮本二天像」「赤星母堂像」「良寛和尚」(寄託作品)
計			41点	

# 展覧会

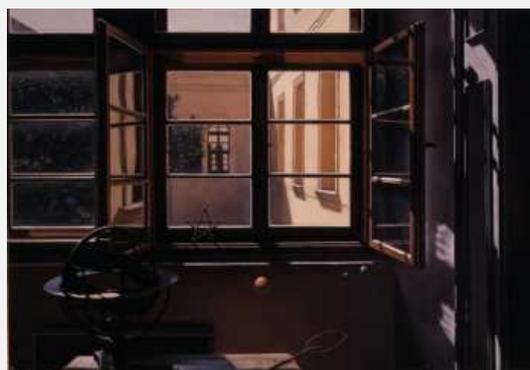
## 平成27年度 展覧会

### (1) 特集展 川口起美雄 - 絵画の錬金術師

種別	特集展
会期	4月18日(土)～6月14日(日)
主催	平塚市美術館
特別協力	彩鳳堂画廊
開館時間	9:30～17:00(入場は～16:30)
休館日	月曜日 *5月4日(月・祝)は開館
観覧料	一般200円、高大生100円
開催日数	51日
観覧者数	9,379人
担当	江口恒明(当館学芸員)



《つぎの日の朝の風景》1992年



《木星儀のある部屋》2010年

#### 内容

川口起美雄は、1951年長崎生まれ、現在、大磯町に在住し、武蔵野美術大学教授をつとめています。1974年から77年にかけてオーストリア国立応用美術大学に在籍、ヴォルフガング・フッターに師事し、北方ルネサンスの混合技法を学びました。帰国後、個展を中心に活動し、1985年文化庁在外研修員としてイタリアに留学、ウフィッツィ美術館にて研修。1987年、第30回安井賞展佳作賞を受賞。2002年には池田20世紀美術館で回顧展を開催しました。

川口作品の特徴は、古典技法と幻想的な画面にあります。その透き通った画面は、ブリューゲルやボッシュなど15世紀のオールドマスターに学んだ、テンペラと油彩の混合による古典技法の徹底した追究に裏打ちされています。また、調和の取れた構図には、宙に浮かぶ船や隕石、水面に見立てられた芝生などが描かれ、時間の流れや現実の空間を転倒させた幻視の風景が広がっています。

展示では、10cm×10cm程度の小品「ミニアチュール」を含め、川口作品の全貌を紹介しました。フッターらの影響を受けた幻想的表現と、日本ではめずらしい古典技法を自在に操った独自の具象表現をご覧いただきました。

#### 関連事業

##### アーティストトーク

日時：4月29日(水・祝)、5月30日(土) 各回 14:00～15:00

参加者数：4月29日 70人、5月30日 80人

場所：展示室 申込不要、要観覧券

ワークショップ「混合技法に挑戦！！」

日時：5月2日(土)10:00～16:30

講師：川口起美雄(本展作家)

参加者数：15人

場所：アトリエ 要申込

## (2) 企画展 京都市美術館名品展 美人画の100年

種別	企画展
会期	4月25日(土)～6月7日(日)
主催	平塚市美術館
特別協力	京都市美術館
協賛	神奈川中央交通株式会社
開館時間	9:30～17:00(入場は～16:30)
休館日	月曜日 *5月4日(月・祝)は開館
観覧料	一般800円、高大生500円
開催日数	39日
観覧者数	8,377人
担当	家田奈穂(当館学芸員)



菊池契月 散策 1934年



上村松園 晴日 1941年

### 内容

平塚市美術館では、京都市美術館の名品の中から、明治、大正、昭和にかけて描かれた女性像に着目して、京都画壇の日本画にみられる女性表現の変遷を概観する展覧会を開催しました。

女性像は、古代から現代まで描き続けられてきたテーマのひとつです。やまと絵や浮世絵の伝統を受け継ぎ、普遍的な女性の美しさを描き出すことが一般的であった女性像は、明治時代以降、美術の中心的なテーマとして大きく花開くとともに変動する社会の中で多様化していきます。

深い伝統に根ざした京都画壇でも、明治時代後半に顕著になる国家主義や家父長制度への反発、社会的弱者に対する共鳴や女性の自立を目指す動きなどを反映して、その生の姿が描き出されるようになるとともに、女性の内面をえぐるような表現がなされました。また、大正後半から昭和初期にかけては、時代を象徴するモダンガールがモチーフとして選ばれ、和洋渾然とした装いやモダンな調度品に囲まれた女性の豊かな生活が描写されています。一方、当時の日本の植民地政策を反映して異国情緒あふれる女性像も生み出されました。女性の描写は、とりもなおさず時代を表徴するものであったと言えるでしょう。

本展では、明治、大正、昭和にかけて、社会のめまぐるしい変化に鋭く反応する女性の姿を捉えて描き出した作品 62 点をご紹介します。

## 関連事業

講演会「美人画は3度消える」

日時：4月25日(土)14:00～15:30

講師：尾崎真人（京都市美術館学芸課長）

参加者数：61人

場所：ミュージアムホール 申込不要

学芸員によるギャラリートーク

日時：5月9日(土)、5月23日(土) 各回 14:00～14:40

参加者数：5月9日 48人、5月23日 45人

場所：展示室 申込不要、要観覧券

ワークショップ「ミニ屏風作り入門」

日時：5月16日(土)、5月23日(土)、5月30日(土) 3回連続講座 13:30～16:30

講師：長谷部雄三（表装文化伝承支援協会理事）

清水達也（表装文化伝承支援協会理事）

小林喜代美（表装文化伝承支援協会理事）

参加者数：18人

場所：アトリエ 要申込

### (3) 企画展 ペコちゃん展

種別	企画展
会期	7月11日(土)～9月13日(日)
主催	平塚市美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会
特別協力	株式会社不二家
協力	東京モード学園
協賛	ライオン・清水建設・大日本印刷・損保ジャパン日本興亜・日本テレビ放送網・神奈川県中央交通株式会社
開館時間	9:30～17:00(入場は～16:30) 7月18日(土)～8月30日(日)は開館時間を1時間延長。
休館日	月曜日 *7月20日(月・祝)は開館、翌火曜休館
観覧料	一般800円、高大生500円
開催日数	56日
観覧者数	35,487人
担当	勝山滋(当館学芸員)



ペコちゃん人形 1959年頃



渡部満 不在の時間 ペコのいる風景 2009年

#### 内容

株式会社不二家の「ペコちゃん」は誕生から65年となる日本企業の代表的キャラクターです。まさに昭和から平成へつづく世相や日本の生活を表し、その容貌やファッションは時代や季節を通じて多彩に変化してきました。

店頭人形、卓上人形だけでなく、雑誌や書籍、マッチラベル、テレホンカードなど日常生活に根差したところにペコちゃんがありました。世代によっては、ある特別な日にデパートの屋上遊園地などで遊んだあと、家族で食べたハンバーグやショートケーキの思い出が浮かんでくるかもしれません。現在まで、やなせたかし、水森亜土などの作家やポパイ、ハローキティなどとのコラボレーションが積極的に行われていることも日本の特徴で、さらに企業としての不二家は、その社風もあり、アントニン・レーモンドやレイモンド・ローウィといった先駆的なデザイナーと積極的な関わりをもっていました。

本展はこうした「ペコちゃん」を、昭和という時代や世相のなかで捉えた「過去」(「ペコちゃんと昭和」・「生活のなかのペコちゃん」)と、気鋭の現代アーティスト17人がペコちゃんにインスパイアされて制作した27点による「現在」によってひもときました。

現代作家の内訳は、戌井昭人、伊藤誠、内田望、金川博史、川井徳寛、木原千春、小林孝亘、佐々木成美、玉川みほの、富岡奈津江、西尾康之、町田久美、三沢厚彦、宮川慶子、山田啓貴、吉野英理香、渡部満の17名です。

このほかミルクキー関連のパッケージの展示、二人のデザイナー、レイモンド・ローウィとアントニン・レーモンドの紹介、東京モード学園の協力による、ペコちゃんのオリジナル衣装デザインの募集と展示を行い、あわせて映像資料や多彩なワークショップによって、昭和という世相を追い、アートなペコちゃんの新たな側面を追って、幅広い世代を呼びこんで歴代4位となる入場者を記録しました。

## 関連事業

学芸員によるギャラリートーク

日時：7月12日(日)、8月23日(日)、9月12日(土) 各回14:00~15:00

参加者数：7月12日40人、8月23日20人、9月12日60人

場所：展示室 申込不要、要観覧券

ワークショップ「ミルクキーを作ろう！」

日時：7月18日(土)、8月1日(土)、8月15日(土) 11:00~、13:30~、15:30~

(各回30分前に整理券配布)

講師：不二家富士裾野工場の方々

参加者数：7月18日(土) 146人、8月1日(土) 123人、8月15日(土) 134人

場所：アトリエ

ワークショップ「ペコちゃんとダンスしよう！」

日時：7月26日(日)、8月29日(土) 11:30~、13:30~

参加者数：7月26日 午前70人、午後62人 / 8月29日 午前96人、午後77人

場所：ミュージアムホール

「ペコちゃんカーがやってくる！」

内容：美術館前庭にペコちゃんカーを展示しました。

実施期間：7月11日(土)~9月13日(日)

「みんなでスタンプラリー」

内容：館内にあるペコちゃんスタンプを3つ集めて、ミルクキーと引き換えました。

実施期間：7月11日(土)~9月13日(日) 先着5,000人(中学生以下)

ペコちゃん人形衣装デザイン画コンテスト 子ども審査員賞

内容：中学生以下を対象に、展示中の東京モード学園の学生によるデザイン画のなかから気に入った作品

を選んでいただき、1~3位になった作品の作者に子ども審査員賞を贈呈しました。

投票期間：7月11日(土)~8月9日(日)

参加者数：3,039人

ペコちゃんぬりえコーナー

内容：3種類のペコちゃんぬりえを楽しんでもらいました。

実施期間：7月11日(土)~9月13日(日)

ペコちゃん一日館長

内容：文化ゾーンの3館コラボ事業の一環として株式会社不二家のキャラクター、ペコちゃんが3館の一

日館長として3館を回り、来場者に館内を案内しました。

実施期間：7月23日(木)

## (4) 特集展 生誕100年記念 写真家 濱谷浩展

種別	特集展
会期	7月18日(土)～9月6日(日)
主催	平塚市美術館
特別協力	濱谷浩写真資料館
開館時間	9:30～17:00(入場は～16:30) 7月18日(土)～8月30日(日)は開館時間を1時間延長。
休館日	月曜日 *7月20日(月・祝)は開館、翌火曜休館
観覧料	一般200円、高大生100円
開催日数	44日
観覧者数	21,969人
担当	家田奈穂(当館学芸員)



エヴェレスト山,ネパール,地の貌 1974年  
濱谷浩写真資料館蔵



ホンヤラ洞にゆく子供たち 1956年、当館蔵

### 内容

濱谷浩(はまやひろし:1915-1999)は、東京下谷に生まれ、15歳のときに父の友人からカメラを贈られたことをきっかけに写真に情熱を傾けるようになります。18歳で銀座のオリエンタル写真工業に勤め、22歳でフリーランスのカメラマンとなった濱谷は、1939(昭和14)年に取材で新潟県の高田市を訪れ、その土地の風土や風俗に感銘を受けます。華やかな都会風俗に慣れ親しんだ濱谷にとって、雪国の厳しい風土とそれに立ち向かう人々の営為は、その後の表現を決定づけるものとなります。翌年には高田の小村落「桑取谷(くわとりだに)」の正月行事を取材してフィルムに写し取り、以降、戦中戦後を通じて10年ほど通い、その民俗を記録しました。初期の代表作『雪国』は、日本の風土と人間の関係を突き詰めたことで生まれたのです。

その後、高度成長期を迎えた日本において報道の機動性、速報性、同時性などの面でテレビの影響が増していくと、濱谷は写真表現の可能性を模索、1970年代に入ると世界を巡り、エヴェレストなどの大自然をテーマとするようになり『地の貌』などの作品が生まれます。

人間の生を深く洞察し、大自然の極限の様相に迫るカメラワークは、国内外で高く評価され、1987(昭和62)年、写真界のノーベル賞といわれるハッセルブラッド基金の「国際写真賞」を受賞しました。大きく変動する昭和という時代に生き、カメラを通して「人間が生きては何か」ということを真摯に問いかけた濱谷の生誕100年を記念して作品134点により、その軌跡をご紹介します。

### 関連事業

ギャラリートーク

日時:8月1日(土) 14:00～15:00

講師:多田亜生(編集者)、当館学芸員

参加者数:42人

場所:展示室 申込不要、要観覧券

## (5) 企画展 画家の詩、詩人の絵 絵は詩のごとく、詩は絵のごとく

種別	企画展
会期	9月19日(土)～11月8日(日)
主催	平塚市美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会
協力	県立神奈川近代文学館、公益財団法人神奈川文学振興会
協賛	ライオン、清水建設、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜、日本テレビ放送網、神奈川中央交通株式会社
開館時間	9:30～17:00(入場は～16:30)
休館日	月曜日、10月13日(火) 9月21日(月・祝)、10月12日(月・祝)は開館
観覧料	一般800円、高大生500円
開催日数	45日
観覧者数	9,294人
担当	土方明司(当館館長代理)、安部沙耶香(当館学芸員)



宮沢賢治 《日輪と山》制作年不詳、林風舎蔵



長谷川湊二郎《窓とかまきり》1930年、個人蔵

### 内容

古来、西洋では「絵は黙せる詩、詩は語る絵」といわれてきました。日本でも画賛<sup>がさん</sup>、詞書<sup>ことばがき</sup>が絵画の重要な役割を果たし、「詩書画」の一致を成してきました。一方、日本の近代洋画は、文学からの自立を目指した西洋近代美術の影響のもとで始まっています。特に印象派以後、新しい造形表現を積極的に取り入れた結果、実に多様な作品がうまれました。しかし、現実の生きた情感から浮き上がった作品が多く生まれたことも事実です。こうした中で、村山槐多、長谷川利行、古賀春江、三岸好太郎、山口薫などは、西洋近代美術に学びながらも、文学性、詩情を拠りどころとして優れた作品を残しています。さらにまた、詩の世界では宮沢賢治、立原道造、草野心平らが独自性のある絵を描いています。ある意味では、モダニズムが斥けてきた詩情、文学性を活かすことで、日本独自の絵画が成立したといえます。

近年では、一部の画家たちが積極的に詩の世界に接近し、新しい表現を生み出そうとしています。本展は、明治から現代までの画家と詩人の絵画と詩を一堂にあつめ、絵画と詩の密接なつながりを検証しました。

### 関連事業

0 JUN×小林孝亘 対談「読む形・見える言葉」  
日時：10月4日(日)14:00～15:30  
参加者数：85人  
場所：ミュージアムホール 申込不要

講演会 窪島誠一郎「絵を語る、詩を語る」  
日時：10月12日(月・祝)14:00～15:30  
参加者数：141人  
場所：ミュージアムホール 申込不要

学芸員によるギャラリートーク

日時：10月17日(土)、31日(土) 各回 14:00～14:40

参加者数：10月17日 60人、31日 60人

場所：展示室 申込不要、要観覧券

## (6) 特集展 新収蔵品展 特集：石田徹也の世界

種別	特集展
会期	9月26日(土)～11月29日(日)
主催	平塚市美術館
開館時間	9:30～17:00(入場は～16:30)
休館日	月曜日 *10月12日、11月23日(月・祝)は開館、翌火曜日休館
観覧料	一般200円、高大生100円
開催日数	56日
観覧者数	7,990人
担当	江口恒明(当館学芸員)



石田徹也 大車輪 1995年、当館寄託



佐々木豊 悪い夢 1974年、当館蔵

### 内容

2014年度に寄贈・寄託をうけ当館コレクションに加わった55点のうち、約40点を紹介しました。

昨年度も、当館で開催した展覧会をきっかけとして多くの作品が収蔵されました。戦後の日本画を牽引してきた松尾敏男は、花鳥画を得意とし現在も日本美術院展で活躍し続けています。また、和紙の断片をコラージュ風に継ぎ足して巨大な画面をつくる三瀬夏之介は、昨今とくに注目される若手日本画家です。現代社会や自己の内面との葛藤を克明に描き出すアクリル画で頭角をあらわしながら早世した石田徹也の作品や、鉄の彫刻でノスタルジックな風景をつくり出す小田薫の作品は、若い世代の人々から広く共感を呼んでいます。

このほか日本画では、戦前から古典研究と写生にもとづいた風景画を描いた中村岳陵や、黒田古郷、山本直彰などがあります。油彩では、セザンヌに深く傾倒し穏やかな詩情をたたえた風景を描く入江観、緑とピンクを基調色として独特のマチエールで女性像を描く佐々木豊、このほか高良眞木、積山恭平、中川久、平野杏子があります。また、野見山暁治が素早いタッチで日常の生活をとりえた水彩画、工芸の分野では、染織から出発し、真鍮などの素材を用いた立体造形に至った林辺正子の作品も紹介しました。

本展ではとくに、13点の寄託をいただいた石田徹也作品について、特集コーナーを設けて全点展示いたしました。近・現代日本の美術を彩るさまざまな表現をお楽しみいただきました。

### 関連事業

学芸員によるギャラリートーク

日時：10月11日(日)、11月14日(土) 各回 14:00～14:40

参加者数：10月11日 15人、11月14日 15人

場所：展示室 申込不要、要観覧券

## (7) ロビー展 前田哲明の彫刻 Recent Work

種別	特集展
会期	12月5日(土)～平成28年4月10日(日)
主催	平塚市美術館
開館時間	9:30～17:00
休館日	月曜日、12月29日(火)～1月3日(日) *1月11日(月・祝)開館、翌火曜日休館
観覧料	-
開催日数	105日
観覧者数	開催中
担当	勝山滋(当館学芸員)

### 内容

美術館のテーマホールを用いた「ロビー展」は2006年12月にはじまり、今回9回目となりました。外光の降り注ぐ高さ11メートルの空間を有効に使い、冬季実質100日以上のお会期となる観覧無料の展示となりました。

前田哲明(まえだのりあき)は、1961年東京生まれ。1986年に東京藝術大学彫刻科を卒業ののち、1991年同大学院博士課程彫刻専攻を修了。現代日本美術展や個展を中心に作品を発表し、1997年文化庁芸術家在外研修員として渡英。ロンドンやトリノ(イタリア)での個展開催をへて、現在東京に在住。内外に設置された野外彫刻では、その場所のもつ象徴性やニュアンスに想いをこめ自分自身に立ち返りながら制作されており、第13回本郷新賞(2007年)を受賞するなど高く評価されています。

湘南の光あふれるテーマホールの大空間に触発され、展開する前田哲明の世界をご堪能いただいております。

### 関連事業

#### アーティストトーク

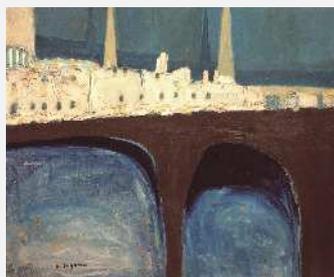
日時：12月5日(土)14:00～15:00

参加者数：25人

場所：テーマホール 申込不要

## (8) 特集展 知られざる名品 サラリーマンコレクター わの会展

種別	特集展
会期	12月5日(土)～平成28年2月7日(日)
主催	平塚市美術館
開館時間	9:30～17:00(入場は～16:30)
休館日	月曜日、12月29日(火)～1月3日(日) *1月11日(月・祝)開館、翌火曜日休館
観覧料	一般200円、高大生100円
開催日数	50日
観覧者数	3,414人
担当	安部沙耶香(当館学芸員)



菅野圭介《哲学の橋(ハイデルベルク)》1953年  
梅野コレクション



桂ゆき《みみずく》1947-48年

### 内容

この展覧会は、美術品コレクターの集まりである「わの会」会員の秘蔵のコレクションを公立美術館で初めて公開いたしました。

「わの会」にはサラリーマンをはじめ、公務員、医師など様々な職種の会員がいます。会員は皆、本業の傍ら熱心に美術品を蒐集し、研究し、愉しんでいます。彼らの共通点は、情熱と愛情をもって美術品を蒐集していることです。この情熱と愛情を共通の理念とし、会員間で情報の交換、作品を発表しコレクションのさらなる充実に努めています。

そのコレクションは決して派手なものではありません。しかし、一点一点、いぶし銀の魅力を放ち、美術館のコレクションとはまた違った魅力を持っています。思いもかけぬ、名品、珍品、いつの間にか忘れられた画家の傑作、有名画家の隠れた一面を示す作品等々、まさにコレクターの情熱と愛情によって発掘された作品ばかりです。

今回の展覧会では、「わの会」会員の秘蔵のコレクションのなかから、これぞ、という自慢の作品約146点を厳選し、コレクターのコメントと併せて展示いたしました。

### 関連事業

学芸員によるギャラリートーク

日時：12月12日(土)、2016年1月23日(土) 各回14:00～14:30

参加者数：12月12日 11人、1月23日 33人

場所：展示室 申込不要、要観覧券

あなたもアートコレクター お気に入りの作品を選ぼう!!

投票期間：12月5日(土)～2016年1月15日(金)

参加者数：1,035人

## (9) 特集展 春の所蔵品展 - 物語る絵

種別	特集展
会期	2月13日(土)～4月10日(日)
主催	平塚市美術館
開館時間	9:30～17:00(入場は～16:30)
休館日	月曜日 *3月21日(月・祝)開館、翌火曜日休館
観覧料	一般200円、高大生100円
開催日数	51日
観覧者数	開催中
担当	家田奈穂(当館学芸員)



安田鞠彦《日食》1925年 当館蔵



河野通勢《桃源郷に遊ぶ人々》1941-42年頃 当館寄託

### 内容

よく知られているように、古くから絵画は人々の間に広く浸透している物語を描き表してきました。文学からの自立なくして近代的な絵画ではないと考えられた明治時代以降も、絵画と文学とのつながりは途切れることはありませんでした。例えば、キリスト教や仏教の説話、各地の神話、古典文学や歴史的な物語をテーマにした作品は枚挙に暇がありません。一方で、個人的な感興に形を与えた画家たちの存在も見逃すことはできません。人間の理想的な生き方、自然に接する中で、あるいは私的な生活の中で立ち現れた感興の表象として詩と絵が渾然一体とした作品が生まれました。また、世界観や死生観を普遍的で壮大な物語として捉えるならば、個々の作家のうちにある実に多様なストーリーが絵画に託されてきたといえるでしょう。

当館では2015年秋の企画展「画家の詩、詩人の絵」において詩情溢れる絵画を大々的にご紹介しました。それを受けて本展では、物語を内包した所蔵の絵画34点を展示いたしました。絵が語りかけてくる多様な物語を読み取っていただければ幸いです。

### 関連事業

学芸員によるギャラリートーク

日時：2月27日(土)、3月26日(土) 各回 11:00～14:40

参加者数 2月27日(土)20人

場所：展示室 申込不要、要観覧券

# 教育普及

## 平成 27 年度実施プログラム

33 プログラムを実施。1,731 人

担当：安部沙耶香(当館学芸員)、品川ちひろ(当館嘱託員 2016 年 1 月まで)、久保田知美(当館嘱託員 2016 年 1 月から)

NO.	講座名	講師名	開催日	材料費	対象	参加人数
01	体験アートセラピー 親子でパステルアート～笑顔のカードを作ろう～	福山恵美子(アートセラピスト)	4月4日(土)	200円	親子(小・中学生)	8組 18人
02	木炭で描くデッサン教室	山中まんぼう(アーティスト)他2名	4月12日(日)	300円	小・中学生	19人
03	遊んでのびのび 赤ちゃんアート春	富田めぐみ(NPO法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会 代表理事)	4月16日(木)・ 5月14日(木)・ 6月4日(木)	500円	1.0才～2.3才までの親子	24組 49人
04	川口起美雄展関連事業 混合技法に挑戦!!	川口起美雄(油彩画家)	5月2日(土)	1200円	中学生～一般	15人
05	バックヤードツアー	当館学芸員(勝山滋)	5月9日	なし	小学生～一般	20人
06	表装文化伝統体験「ミニ屏風作りに挑戦」	長谷部雄三、清水達也、小林喜代美(表装文化伝承支援協会理事)	5月16日(土)・ 23日(土)・ 30日(土)	2000円	高校生～一般	18人
07	東海大学協働事業 デッサン教室 所蔵彫刻作品を描いてみよう 一般の部	滝波重人、河野孝博(東海大学教員)、東海大学院生3名	6月7日(日)	500円	18才～一般	13人
08	七夕関連ワークショップ 「カササギで想いをつなごう～七夕ガーランド作り～」	依田梓(美術家)	6月20日(土)・ 27日(土)	500円	子ども～一般	5人
09	遊んでのびのび 赤ちゃんアート 夏	富田めぐみ(NPO法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会 代表理事)	7月2日(木)・ 8月6日(木)・ 9月3日(木)	500円	1.0才～2.3才までの親子	26組 51人
10	体験アートセラピー 親子でパステルワーク～お魚塗り絵で遊ぼう～	福山恵美子(アートセラピスト)	7月4日(土)	200円	親子(小・中学生)	10組 20人
11	ミルクキーを作ろう!!	不二家富士裾野工場の方々	7月18日(土)	なし	3才～一般	72組 146人
12	作ってあそぼう わくわくランド	市立保育園保育士7名	7月25日(土)	なし	0才～6才までの親子	52組 109人
13	ミルクキーを作ろう!!	不二家富士裾野工場の方々	8月1日(土)	なし	3才～一般	72組 123人
14	中学生・高校生ボランティアによる 缶バッジ・ブラン作りワークショップ	当館学芸員、中学生ボランティアスタッフ11名	8月7日(金)・8日(土)・9日(日)	50円	3才～一般	378人

15	ミルクーを作ろう!!	不二家富士裾野工場の方々	8月15日(土)	なし	3才~一般	73組 134人
16	作ってあそぼう わくわくランド	市立保育園保育士9名	8月22日(土)	なし	0才~6才までの親子	53組 114人
17	元気にのびのび キッズアート	富田めぐみ(NPO法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会 代表理事)	10月1日(木)・11月5日(木)・12月3日(木)	500円	2.6才~4.0才(未就園児)の親子	24組 48人
18	キッズ鑑賞ツアー	富田めぐみ(NPO法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会 代表理事)	10月3日(土)	なし	3才~小学生までの親子	11組 21人
19	0才からの鑑賞ツアー	富田めぐみ(NPO法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会 代表理事)	10月15日(木)	なし	0才~2.0才までの親子	12組 27人
20	体験アートセラピー 塗り絵でリフレッシュ!	福山恵美子(アートセラピスト)	10月17日(土)	200円	中学生~一般	18人
21	孫の日鑑賞ツアー	富田めぐみ(NPO法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会 代表理事)	10月18日(日)	なし	未就学児とその祖父・祖母	13組 37人
22	東海大学協働事業 デッサン教室 所蔵彫刻作品を描いてみよう 中高生の部	吉村維元、仙谷朋子(東海大学教員)、東海大学院生4名	10月25日(日)	なし	中・高校生	8人
23	バックヤードツアー	当館学芸員(江口恒明)	11月8日(日)	なし	小学生~一般	11人
24	子どもの油絵教室	山中まんぼう(アーティスト)他2名	11月22日(日)	1500円	小・中学生	20人
25	みんなの光るどろだんご	岩月真由子(土の美術家)	11月28日(土)	1000円	小・中学生	28人
26	銅版画講座 メゾチントでつくるクリスマスカード	城戸宏(版画工房主宰)	12月6日(日)	2100円	中学生~一般	15人
27	遊んでのびのび 赤ちゃんアート冬	富田めぐみ(NPO法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会 代表理事)	2016年1月7日(木)	500円	1.0才~2.3才までの親子	24組 52人
28	銅版画講座 エッチング&アクアチントに挑戦!!	城戸宏(版画工房主宰)	2016年1月17日(日)・31日(日)	1300円	中学生~一般	14人
29	リピート鑑賞会	富田めぐみ(NPO法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会 代表理事)	2016年1月21日(木)	なし	2012年度~2015年11月までの鑑賞ツアー参加者	27組 55人
30	リピート鑑賞会	富田めぐみ(NPO法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会 代表理事)	2016年1月23日(土)	なし	2012年度~2015年11月までの鑑賞ツアー参加者	37組 78人
31	陶芸講座	尾形隆昭(陶芸家)	2016年2月7日(日)・14日(日)・21日(日)	1000円	中学生~一般	19人
32	0才からの鑑賞ツアー	富田めぐみ(NPO法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会 代表理事)	2016年2月27日(土)	なし	0才~2.0才までの親子	14組 33人

33	クスノキからいきものを彫ろう!!	三沢厚彦(彫刻家)	2016年3月5日 (土)・12日(土)・ 19日(土)	2700円	高校生～一般	15人
----	------------------	-----------	------------------------------------	-------	--------	-----

## スクールプログラム

27プログラムを実施。906人

担当：安部沙耶香(当館学芸員)、品川ちひろ(当館嘱託員 2016年1月まで)、久保田知美(当館嘱託員 2016年1月から)

NO.	講座名	講師名	開催日	材料費	対象	参加人数
01	真鶴中学校美術部美術館ツアー	当館学芸員	4月29日(水)	なし	真鶴中学校美術部の生徒と引率教諭	20人
02	先生のための美術鑑賞広場～美人画の100年～	当館学芸員	6月6日(土)	なし	小・中・高・特別支援学校の教職員	4人
03	湯本・箱根の森・仙石原小学校美術館ツアー	当館学芸員	6月18日(木)	なし	湯本・箱根の森・仙石原小学校の児童と引率教諭	62人
04	厚木市立相川小学校美術館ツアー	当館学芸員	7月9日(木)	なし	相川小学校の児童と引率教諭	29人
05	伊勢原中学校美術部美術館ツアー	当館学芸員	7月22日(水)	なし	伊勢原中学校美術部の生徒と引率教諭	29人
06	伊勢原市小学校教育研究会図工部会研修	当館学芸員	7月24日(金)	なし	伊勢原市小学校教育研究会図工部会の教員	17人
07	先生のための美術鑑賞広場～ペコちゃん展～	当館学芸員	8月4日(火)	なし	小・中・高・特別支援学校の教職員	11人
08	平塚市小学校教育研究会図工部会研修	当館学芸員	8月5日(水)	なし	平塚市小学校教育研究会図工部会の教員	35人
09	中高生ボランティアによる缶バッジ・プラバン作りワークショップ事前説明会	当館学芸員	8月5日(水)	なし	中高生ボランティア参加希望者	4人
10	採用5年目研修	当館学芸員	8月7日(金)、8日(土)、9日(日)	なし	金田小学校教員	1人
11	先生向け体験ワークショップ エッチング講座	城戸宏	8月11日(火)	1100円	小・中・高・特別支援学校の教職員	5人
12	平塚市立学校事務職員研究会研修	当館学芸員	8月12日(水)	なし	平塚市立学校事務職員研究会の教員	49人
13	小田原市小学校教育研究会図工部研修	当館学芸員	8月18日(火)	なし	小田原市小学校教育研究会図工部の教員	37人
14	墨田区立小学校教育研究会図画工作部研修	当館学芸員	8月26日(水)	なし	墨田区立小学校教育研究会図画工作部の教員	8人
15	平塚市立城島小学校美術館ツアー	当館学芸員	9月3日(木)	なし	城島小学校の児童と引率教諭	51人
16	夕陽ヶ丘保育園 園児鑑賞ツアー	富田めぐみ	10月6日(火)	なし	夕陽ヶ丘保育園年長組と引率	27人

17	しらさぎ保育園 園児鑑賞ツアー	富田めぐみ	10月16日(金)	なし	しらさぎ保育園年長組と引率	20人
18	金田保育園 園児鑑賞ツアー	富田めぐみ	10月30日(金)	なし	金田保育園年長組と引率	32人
19	神田保育園 園児鑑賞ツアー	富田めぐみ	11月4日(水)	なし	神田保育園年長組と引率	25人
20	花水台保育園 園児鑑賞ツアー	富田めぐみ	11月6日(金)	なし	花水台保育園年長組と引率	16人
21	伊勢原市適応指導教室 缶バッジ作りワークショップ	当館学芸員	11月18日(水)	材料持参	適応指導教室の生徒と引率教諭	8人
22	横浜市立青葉台小学校美術館ツアー	当館学芸員	11月26日(木)	なし	青葉台小学校の児童と引率教諭	72人
23	ワンポイント研修	当館学芸員	2016年1月6日(水)	なし	平塚市及び近隣市の教員	25人
24	平塚市小学校教頭会研修	当館学芸員	2016年1月19日(火)	材料持参	平塚市内小学校教頭	25人
25	横浜市立南瀬谷小学校美術館ツアー	当館学芸員	2016年2月24日(水)	なし	南瀬谷小学校の児童と引率教諭	135人
26	平塚市適応指導教室缶バッジ作りワークショップ	当館学芸員	2016年2月24日(水)	材料持参	適応指導教室の生徒と引率教諭	13人
27	茅ヶ崎市立東海岸小学校美術館ツアー	当館学芸員	2016年2月25日(木)	なし	東海岸小学校の児童と引率教諭	146人

## アートカードの貸出

平塚市美術館を代表する所蔵作品48点のカードと遊び方の説明書を合わせたアートカードセットを学校向け教材として無料貸出を行っています。

貸出先	3件(小学校3件)
貸出学校所在地域	茅ヶ崎市2件、横浜市1件
貸出個数	36個

## 対話による美術鑑賞事業(ボランティア育成)

担当：勝山滋(当館学芸員)、久保田知美(当館嘱託員 2016年1月から)

美術館の新たな活動の柱として市内小学校を対象とした「対話による美術鑑賞」を事業化し、本事業を支援するボランティアを募集、育成しました。今年度は1校(1クラス)の事業を実習し、ボランティア16名が現在研修を受けています。

なお「対話による美術鑑賞」は、グループで対話をしながら美術を鑑賞する手法をいい、1988年以降ニューヨーク近代美術館で開発された方法で、作品を見、自分の考えをクラスメートの前で言葉にすることで思考力やコミュニケーション能力を身に着ける鑑賞方法です。

ボランティア育成のための研修会。13プログラム実施。

NO.	講座名	講師名	開催日	対象	参加人数
1	鑑賞&トーク体験会	桑原和美(ARDA)	9月25日(金)	ボランティア募集希望者および一般来館者	14人
2	鑑賞&トーク体験会	桑原和美(ARDA)	10月2日(金)	ボランティア募集希望者および一般来館者	12人
3	説明会兼合同面接会	三ツ木紀英(ARDA)	10/23(金)、24日(土)	ボランティア応募者	各10人
4	基礎研修	三ツ木紀英(ARDA)	11月7日(土)、14日(土)	ボランティア	各16人
5	自主研修	当館職員	11月26日(木)	ボランティア	12人
6	実践研修	三ツ木紀英(ARDA)	12月10日(木)	ボランティア	12人
7	自主研修	当館職員	12月11日(金)	ボランティア	5人
8	自主研修	当館職員	12月24日(木)	ボランティア	10人
9	自主研修	当館職員	1月14日(木)	ボランティア	15人
10	実践研修	三ツ木紀英(ARDA)	1月28日(木)	ボランティア	15人
11	自主研修	当館職員	2月4日(木)	ボランティア	5人
12	実践研修	三ツ木紀英(ARDA)	2月16日(火)	ボランティア	11人
13	自主研修	当館職員	2月25日(木)	ボランティア	6人

対話による美術鑑賞講座。1校37児童を対象に実施。

NO.	講座名	講師名	開催日	対象	参加人数
1	城島小学校事前打合せ	当館学芸員・嘱託職員、 桑原和美(ARDA)	2月2日(火)	城島小学校教頭教諭、6 年生担任教諭	2人
2	城島小学校事前授業	ARDAよりスタッフ6名、 当館ボランティア6名	2月12日(金)	城島小学校6年生	37人
3	対話による美術鑑賞	ARDAよりスタッフ7名、 当館ボランティア11名	2月19日(金)	城島小学校6年生	37人

## その他の事業

### (1) 事業

#### 第38回 平塚市展 6月28日(日)～7月12日(日)

主催	平塚市展委員会
協力	平塚市教育委員会・平塚書道協会・湘南美術工芸研究会・平塚美術家協会・平塚写真連盟
後援	平塚市・平塚市文化連盟・平塚商工会議所・SCN湘南ケーブルネットワーク(株)・FM湘南ナパサ・(公財)平塚市まちづくり財団
場所	展示室、市民アートギャラリー
日数	13日
入場者数	5,041人



実施風景



#### 七夕飾り 6月27日(土)～7月5日(日)

主催	平塚市美術館
内容	平塚の七夕祭りにあわせて、ワークショップ「カササギで想いをつなごう」で制作した七夕飾りを展示しました。ワークショップ講師、参加者の方々により飾りつけられ、来館者の目を楽しませていました。 展示指導 依田梓(ワークショップ講師、美術家)
場所	テーマホール
日数	8日
入場者数	自由観覧



実施風景



## ミュージアムコンサート

「ドイツ後期バロック 輝かしい3人の巨匠達 ~バッハ、テレマン、ヘンデルとその周辺~」

11月21日(土)

主催	平塚市美術館
内容	古楽器を専門に音楽活動を行っている「古楽器アンサンブルgmt」が、バッハ、ヘンデル、テレマンなどのドイツ後期バロック音楽を演奏しました。
場所	テーマホール
参加者数	202人



実施風景

## こども年賀状とおとな絵手紙展 1月6日(水)~1月11日(月・祝)

主催	平塚市美術館
内容	美術館を身近に感じてもらうための取り組みとして、美術館への年賀状と絵手紙作品を募集し、市民アートギャラリーに展示する「こども年賀状とおとな絵手紙展」を開催しました。当企画は平成20年度の開催から数えて、今回で7回目となりました。
場所	市民アートギャラリーA室
日数	6日間
作品総数	131点
入場者数	722人



実施風景

## ミュージアムコンサート

「～平塚市美術館で聴く『展覧会の絵』と世界のお国めぐり～」 2月13日(土)

主催	平塚市美術館
内容	神奈川県湘南地域を中心に活動している「湘南エールアンサンブル」が、ヴァイオリン、フルート、オーボエ、コーラングレ、ピアノの組み合わせにより、世界の国々の名曲を演奏しました。
場所	テーマホール
参加者数	164人



実施風景



## (2) 団体向け研修・体験プログラム

平成 28 年 2 月 29 日現在

No	種別	開催日	団体名	内容	人数
1	学習	5月10日 (日)	リン版画工房	「川口起美雄展」見学とレクチャー	28人
2	学習	5月21日 (木)	大神公民館	「川口起美雄展」「美人画の100年展」見学とレクチャー(公民館自主事業 美術鑑賞講座)	25人
3	研修	5月22日 (金)	平塚MAC	「川口起美雄展」「美人画の100年展」見学とレクチャー	20人
4	学習	5月29日 (金)	神田公民館	「川口起美雄展」「美人画の100年展」見学とレクチャー(公民館自主事業 美術鑑賞講座)	16人
5	学習	5月29日 (金)	茅ヶ崎美波会	「川口起美雄展」「美人画の100年展」見学とレクチャー	29人
6	学習	5月31日 (日)	美人画見学会	「川口起美雄展」「美人画の100年展」見学とレクチャー	14人
7	学習	6月4日 (木)	藤沢三田会	「川口起美雄展」「美人画の100年展」見学とレクチャー	21人
8	学習	6月6日 (土)	三田観世会	「川口起美雄展」「美人画の100年展」見学とレクチャー	18人
9	学習	7月12日 (日)	ボーイスカウト平塚第3団カブ隊	「ペコちゃん展」見学とレクチャー	13人
10	学習	7月24日 (金)	伊勢原市小学校教育研究会 図工科部会	「ペコちゃん展」「濱谷浩展」見学とレクチャー	17人
11	学習	8月5日 (水)	岡崎公民館	「ペコちゃん展」「濱谷浩展」見学とレクチャー	11人
12	学習	8月5日 (水)	平塚市小学校教育研究会 図工部会	「ペコちゃん展」「濱谷浩展」見学とレクチャー	35人
13	学習	8月7日 (金)	大神公民館	「ペコちゃん展」「濱谷浩展」見学とレクチャー	17人
14	学習	8月7日 (金)	平塚市中学校長会	「ペコちゃん展」「濱谷浩展」見学とレクチャー	13人
15	学習	8月9日 (日)	東ブロック公民館	「ペコちゃん展」「濱谷浩展」見学とレクチャー	76人
16	学習	8月12日 (水)	平塚市立学校事務職員研究会	「ペコちゃん展」「濱谷浩展」見学とレクチャー	49人
17	学習	8月18日 (火)	小田原市小学校教育研究会 図工部	「ペコちゃん展」「濱谷浩展」見学とレクチャー	37人
18	学習	8月21日 (金)	新宿工業会	「ペコちゃん展」「濱谷浩展」見学とレクチャー	8人
19	学習	8月23日 (日)	東ブロック公民館	「ペコちゃん展」「濱谷浩展」見学とレクチャー	41人
20	学習	8月25日 (火)	墨田区立小学校教育研究会 図画工作部	「ペコちゃん展」「濱谷浩展」見学とレクチャー	8人
21	学習	8月25日 (火)	中央公民館	「ペコちゃん展」「濱谷浩展」見学とレクチャー	27人

No	種別	開催日	団体名	内容	人数
22	学習	8月27日 (木)	花水公民館	「ペコちゃん展」「濱谷浩展」見学とレクチャー	52人
23	学習	10月8日 (木)	南ブロック公民館	「画家の詩、詩人の絵」「新収蔵品展」見学とレクチャー	31人
24	学習	10月9日 (金)	静岡焼津公民館 すこやか学級	「画家の詩、詩人の絵」「新収蔵品展」見学とレクチャー	34人
25	学習	10月15日 (木)	明るい選挙推進協議会	「画家の詩、詩人の絵」「新収蔵品展」見学とレクチャー	18人
26	学習	10月20日 (火)	大神公民館	「画家の詩、詩人の絵」「新収蔵品展」見学とレクチャー	10人
27	学習	10月21日 (水)	アート21	「画家の詩、詩人の絵」「新収蔵品展」見学とレクチャー	16人
28	学習	10月22日 (木)	東ブロック公民館	「画家の詩、詩人の絵」「新収蔵品展」見学とレクチャー(公民館自主事業 美術鑑賞講座)	52人
29	学習	10月23日 (金)	フレンズ倶楽部	「画家の詩、詩人の絵」「新収蔵品展」見学とレクチャー	22人
30	学習	10月29日 (木)	平塚市工業会連合会	「画家の詩、詩人の絵」「新収蔵品展」見学とレクチャー	28人
31	学習	11月5日 (木)	旭北福祉村	「画家の詩、詩人の絵」見学とレクチャー	19人
32	視察	11月18日 (水)	埼玉県入間地区教育委員会連合会	「新収蔵品展」見学とレクチャー	44人
計					849人

### (3) 実習および職場体験受け入れ

#### 博物館実習の受け入れ

当館の活動に携わることを通して、体験的に学芸員の職務の理解に資することを目的に、美術を専攻する博物館学実習生を、4大学から4人を受け入れ、平成27年6月から12月まで実習を行いました。

#### 職場体験の受け入れ

市内の中学生、高校生等が現場で仕事を実際に体験することによって、社会性・勤労観やマナーを身につけ、将来の職業選択につながるよう、職場体験の受け入れを行いました。

NO	実施日	参加者	人数	内容
1	7月14日(火)	大磯高校	24人	館の概要講義及び施設見学
2	8月4日(火)	大磯中学校	3人	館の概要講義及び業務体験
3	12月11日(金)	神明中学校	3人	館の概要講義及び業務体験
4	1月22日(金)	大住中学校	3人	館の概要講義及び業務体験
		参加者合計	33人	

## (4) 定例会議

### 美術館協議会

委員(敬称略) 8人

水沢勉(学識経験者)、河野孝博(学識経験者)、鈴木靖(学校教育関係者)、栗木雄剛(学校教育関係者)、宮澤達寛(学校教育関係者)、加藤宏(社会教育関係者)、後藤真由美(社会教育関係者)、岩城孝子(家庭教育の向上に資する活動を行う者)

開催日/議題

第1回 平成27年8月5日(水) 平成27年度上半期事業報告及び下半期の事業計画について  
第2回 平成28年3月23日(水) 平成27年度下半期事業報告、平成28年度事業計画(案)について

### 美術品選定評価委員会

開催日：平成28年1月22日(金)

委員(敬称略) 5人

酒井忠康(学識経験者)、橋秀文(学識経験者)、原田光(学識経験者)、鶴見香織(学識経験者)、猿渡紀代子(学識経験者)

## (5) その他

企画展「ペコちゃん展」で、午後6時までの開館延長と親子割引を実施した。開館延長時間中観覧者数は1,196人、親子割引は7,466人が利用した。

# 施設利用者等の統計

平成 28 年 2 月 29 日現在

## (1) 展覧会

観覧者数 月別統計

月	開館日数	企画展	特集展	合計
4月	26日	844人	1,250人	2,094人
5月	28日	5,559人	5,601人	11,160人
6月	25日	1,974人	2,528人	4,502人
7月	27日	9,680人	5,766人	15,446人
8月	26日	17,811人	13,342人	31,153人
9月	27日	9,248人	3,221人	12,469人
10月	27日	5,493人	4,371人	9,864人
11月	25日	2,549人	3,259人	5,808人
12月	24日	-	1,982人	1,982人
1月	24日	-	3,656人	3,656人
2月	24日	-	3,829人	3,829人
3月				
計	283日	53,158人	48,805人	101,963人

学校観覧

		企画展			特集展		
		学校数	生徒数	教員数	学校数	生徒数	教員数
小学校	市内	6校	288人	22人	9校	418人	33人
	市外	1校	60人	5人	5校	572人	30人
中学校	市内	5校	18人	12人	5校	35人	19人
	市外	10校	128人	14人	13校	145人	20人
高等学校		4校	71人	16人	5校	43人	9人
計		26校	565人	69人	37校	1,213人	111人

## (2) 貸出施設

市民アートギャラリー 月別統計

月	利用日数	団体数	入場者数
4月	25日	4団体	2,964人
5月	24日	7団体	4,378人
6月	37日	6団体	6,263人
7月	18日	5団体	5,626人
8月	24日	5団体	4,542人
9月	30日	8団体	6,540人
10月	26日	4団体	3,279人
11月	25日	5団体	9,232人
12月	18日	4団体	1,769人
1月	24日	5団体	6,077人
2月	24日	7団体	4,077人
3月			
計	275日	60団体	54,747人

### ミュージアムホール 月別統計

月	利用日数	団体数	入場者数
4月	5日	5団体	308人
5月	-	-	-
6月	5日	5団体	324人
7月	6日	6団体	457人
8月	-	-	-
9月	3日	3団体	56人
10月	-	-	-
11月	11日	11団体	846人
12月	6日	6団体	520人
1月	7日	7団体	438人
2月	9日	9団体	550人
3月			
計	52日	52団体	3,499人

5月、8月、10月は、展覧会DVD上映のため利用団体はありません。

### アトリエ 月別統計

月	利用日数	団体数	入場者数
4月	1日	1団体	50人
5月	0日	0団体	0人
6月	1日	1団体	10人
7月	0日	0団体	0人
8月	0日	0団体	0人
9月	0日	0団体	0人
10月	5日	5団体	88人
11月	1日	1団体	40人
12月	1日	1団体	14人
1月	13日	2団体	236人
2月	0日	0団体	0人
3月			
計	22日	11団体	438人

# 施設の管理

## (1) 防災訓練

実施日時

平成 27 年 7 月 29 日 (水) 9:00 ~ 9:30

内容

- ・全国瞬時警報システム(緊急地震速報)配信時の対応
- ・大地震発生時の対応
- ・火災発生時の対応(通報・初期消火・避難誘導)
- ・津波避難行動訓練
- ・水消火器での消火訓練
- ・展示準備室からの避難経路の確認

想定

全国瞬時警報システムによる緊急地震速報が配信され、その後大地震が発生する。地震の影響で、市民アートギャラリーA控室から火災が発生し、火災報知機が火災を感知する。

設備員が現場に急行し、火災発生を現認して事務所に報告する。初期消火活動を行うとともに、消防に通報し、来館者の避難誘導を行う。

## 展覧会

### (1)企画展 アーティスト in 湘南 萬鉄五郎×岸田劉生 その仲間たち

種別	企画展
会期	4月16日(土)～6月12日(日)
主催	平塚市美術館
開館時間	9:30～17:00(入場は～16:30)
休館日	月曜日
観覧料	一般400円、高大生200円
開催日数	50日
担当	安部沙耶香(当館学芸員)



岸田劉生《童女図(麗子立像)》1923年、神奈川県立近代美術館



萬鉄五郎《宙腰の人》1924年、当館蔵

#### 内容

日本の近代美術を語るうえで欠かすことのできない萬鉄五郎と岸田劉生にスポットを当てます。この二人と、彼らに影響を受け、ともに活動を続けた画家たちをご紹介します。

湘南地方は明治期に別荘地や療養地として知られ、独特の文化が生まれました。大正期に萬や劉生が転地療養のためやってくると、彼らを慕う画家たちも集うようになります。本展では、「序章」としてフェウザン会までの萬と劉生を取り上げます。そして、「岸田劉生とその仲間たち」では、草土社の仲間である木村莊八、中川一政、河野通勢、椿貞雄、「萬鉄五郎とその仲間たち」では、藤沢中学校(現・藤嶺学園藤沢高等学校)の同窓生である鳥海青児、森田勝、原精一を取り上げます。彼らの作品を通して、大正期から戦前までの湘南の地で生まれた日本近代洋画の展開を検証するものです。

#### 関連事業

学芸員によるギャラリートーク

日時：5月14日(土)、6月11日(土) 各回 11:00～11:30

場所：展示室 申込不要、要観覧券

## (2)企画展 北海道立近代美術館所蔵 華麗なるガラス工芸の世界

種別	企画展
会期	4月23日(土)～6月19日(日)
主催	平塚市美術館
特別協力	北海道立近代美術館
協賛	神奈川中央交通株式会社
開館時間	9:30～17:00(入場は～16:30)
休館日	月曜日
観覧料	一般800円、高大生500円
開催日数	56日
担当	江口恒明(当館学芸員)



エミール・ガレ《昆虫文双耳花器》1880年代



ドーム《鶯に睡蓮文三耳花器》1884年頃

### 内容

ガラス制作の発祥は、4千年前とも5千年前ともいわれます。その輝きと豊かな色彩は、洋の東西を問わず人々を魅了し、建築装飾や生活の器として用いられてきました。とりわけヨーロッパにおいては、15世紀のヴェネツィアで、それまでとは比較にならない透明度の高いガラスの器が制作されました。

その後、19世紀後半のフランスで、エミール・ガレが登場し、ガラス造形に全く新しい地平が切りひらかれました。ガレは19世紀末に流行した芸術運動であるアール・ヌーヴォーを代表する芸術家であり、当時の制作技術の粋をつくして、自然をモチーフとした曲線的な表現による装飾芸術をつくりあげました。20世紀前半には工業化社会の進展を反映して、幾何学的・直線的文様を特徴とするアール・デコ様式の作品があらわれます。時を同じくして、芸術家意識が高まりはじめ、従来の工房制作から個人によるガラス芸術も発展していきます。

産業から芸術へ、工房から作家による制作へとしたいに変化していったガラス芸術は、現在、造形作品としての要素やガラスの素材そのものへの関心を強めつつ、多様化しています。本展では、近代ヨーロッパの作品を中心に、日本人作家の作品も含め、北海道立近代美術館所蔵の約120点の名品を通じて、何千年にわたって受け継がれてきた伝統とさまざまな表現をご紹介します。

### 関連事業

北海道立近代美術館学芸員によるギャラリートーク

日時：4月23日(土) 11:00～11:40

講師：森本陽香氏

場所：展示室 申込不要、要観覧券

### 学芸員によるギャラリートーク

日時：5月14日(土)、6月5日(日) 各回 14:00～14:40

場所：展示室 申込不要、要観覧券

### ワークショップ「型ガラスでオブジェをつくろう」

日時：5月28日(土)、6月11日(土) 2回連続講座、各回 13:30～16:30

講師：大谷佳子氏(ガラス作家)

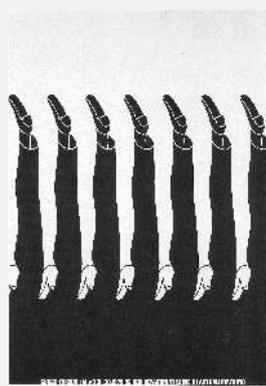
場所：アトリエ 要申込

## (3)企画展 不思議なアート トリック トリック ハット！トリック

種別	企画展
会期	7月2日(土)～8月28日(日)
主催	平塚市美術館
特別協力	高松市美術館
協力	株式会社DNPアートコミュニケーションズ
協賛	神奈川中央交通株式会社
開館時間	9:30～17:00(入場は～16:30) 7月16日(土)～8月28日(日)は開館時間を1時間延長
休館日	月曜日 7月18日(月・祝)は開館、翌火曜日休館
観覧料	一般900円、高大生500円
開催日数	50日
担当	家田奈穂(当館学芸員)



森村泰昌《肖像(ヴァン・ゴッホ)》1985年



福田繁雄《Shigeo Fukuda Exhibition》1975(1987復刻)年

### 内容

人は五感の中でもとくに視覚に頼りがちですが、私たちの「目」は、実はとてもだまされやすいものです。遠近の関係性や上下左右を見間違えたり、目の前にあるのに見落とししたり、逆にあるはずだと思い込んでいるためにそこにはないものが見えたりと、私たちは日常的にさまざまな錯覚にとらわれています。このことに着目した作家たちは、さまざまな工夫を凝らして見る者をあざむき、楽しませる作品を作ってきました。

本展は、視覚と固定化されたイメージに揺さぶりをかける戦後の美術家たちの工夫に満ちた取り組みを「トリック」として紹介しようとするものです。人の目を惑わす手法は多岐にわたりますが、ここでは「虚と実をめぐって」「古典絵画への仕掛け」「オプ・イリュージョン」「リアリズムの諸相」という4つのキーワードにより展覧会を構成しています。美術家たちが仕掛けるさまざまなトリックをとおして、「見る」ということのおもしろさや不思議さとだまされる楽しさを体感していただければ幸いです。

## 関連事業

松本かなこ氏（ストリートペインター）による公開制作  
期間 7月16日（土）～7月27日（水）のうち7日間  
時間 10：00～16：00  
場所 美術館テーマホール

## ワークショップ

チョークで道に海の生きものを描こう!!

講師 松本かなこ氏（ストリートペインター）

日時 7月29日（金）13:00～16:00

場所 美術館レストラン側入口

対象 自由参加

参加費 100円

ジェルキャンドルにお魚を描こう!!（仮称）

講師 深堀隆介氏（美術作家）

日時 7月31日（日）13:30～16:30

場所 美術館アトリエ

対象 小中学生（小学校1、2年生は保護者同伴）

参加費 未定

## 学芸員によるギャラリートーク

日時 7月10日（日）、8月7日（日）14：00～14：40

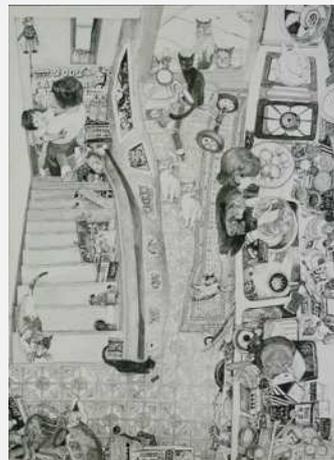
場所 展示室 \*要観覧券

## (4)企画展 アーティスト in 湘南 田澤茂と石井礼子

種別	企画展
会期	7月2(土)～9月4日(日)
主催	平塚市美術館
開館時間	9:30～17:00(入場は～16:30) 7月16日(土)～8月28日(日)は開館時間を1時間延長
休館日	月曜日 7月18日(月・祝)は開館、翌火曜日休館
観覧料	一般400円、高大生200円
開催日数	58日
担当	江口恒明(当館学芸員)



田澤茂《太陽の街》1968年



石井礼子《私の周囲(忙しい日)》2002年

## 内容

湘南のアーティストを顕彰する企画展。藤沢市辻堂で長く制作した油彩画家・田澤茂（1925-2014）の画業と、田澤が主催した絵画教室で学び、藤沢で制作を続ける石井礼子（1974-）の師弟の作品を紹介します。

青森県に生まれた田澤茂は、1948年に上京して辻堂に住み、制作を続けました。1953年には猪熊弦一郎に師事して新制作協会展に初入選し、以後、新制作協会展や個展を中心に活動します。故郷の風土に根ざし、神々や妖怪を描いたユーモアと生命力あふれる作風で知られています。

石井礼子は藤沢市に生まれ、9歳から田澤茂の絵画教室に通いはじめました。1993年に女子美術大学に入学。在学中から新制作協会展に入選し、2004年には同会の会員となり、出品を続けています。石井の作品は、和紙に割り箸と墨を用いて、身の回りの出来事を題材に私的な風景を描き出しています。

いずれも、自身の生活や体験から出発して、身体でとらえた感覚を手放さず、柔軟な発想で制作する点が通底しているように思われます。ふたりの作風は大きく異なりますが、師弟の自由闊達な作品をお楽しみいただきます。

## 関連事業

学芸員によるギャラリートーク

日時：未定 会期中2回程度 14：00～14：40

場所：展示室 申込不要、要観覧券

（参考）28年度下半期開催予定展覧会

（5）企画展 香月泰男と丸木位里・俊、そして川田喜久治

会期：9月17日（土）～11月20日（日）

（6）企画展 アーティスト in 湘南 創画会ゆかりの画家たち

会期：9月24日（土）～11月27日（日）

（7）特集展 ロビー展 黒川弘毅の彫刻

会期：12月3日（土）～2017年4月上旬

（8）特集展 冬の所蔵品展

会期：12月10日（土）～2017年1月29日（日）

（9）特集展 東京都現代美術館名品展

会期：3月4日（土）～4月上旬

## 教育普及

### 平成 28 年度上半期 実施プログラム

14 プログラムを実施予定。

担当：安部沙耶香(当館学芸員)、久保田知美(当館嘱託員)

No	プログラム名	講師	日程	対象
1	親子でパステルアート～笑顔のカードを作ろう～	福山恵美子(アートセラピスト)	4月9日(土)	親子(小・中学生)
2	赤ちゃんアート 春コース	富田めぐみ(NPO 法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会代表理事)	4月14日(木)・5月12日(木)・6月9日(木)	親子(1.0～2.3才)
3	チョークで道にお花を咲かせよう!!	松本かなこ(ストリートペインター)	4月23日(土)	小学生
4	一般向けバックヤードツアー	当館学芸員	5月7日(土)	中学生～一般
5	型ガラスでオブジェをつくろう!!	大谷佳子(ガラス作家)	5月28日(土)・6月11日(土)	中学生～一般
6	一般向け彫刻デッサン教室	東海大学美術学課程の先生方	6月4日(土)	18才～一般
7	親子で作ろう七夕飾り～カササギに想いをこめて～	依田梓(美術家)	6月25日(土)	子ども～一般
8	赤ちゃんアート 夏コース	富田めぐみ(NPO 法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会代表理事)	7月7日(木)・8月4日(木)・9月8日(木)	親子(1.0～2.3才)
9	親子でパステルワーク～お魚塗り絵で遊ぼう～	福山恵美子(アートセラピスト)	7月9日(土)	親子(小・中学生)
10	作ってあそぼう わくわくランド	市内保育士	7月23日(土)	未就学児
11	チョークで道に海のいきものを描こう!!	松本かなこ(ストリートペインター)	7月29日(金)	3才～一般
12	ジェルキャンドルにお魚を描こう!!	深堀隆介(美術作家)	7月31日(日)	小・中学生
13	中学・高校生ボランティアによる缶バッジ・プラバン作りワークショップ	中・高生ボランティア	8月5日(金)・6日(土)・7日(日)	3才～一般
14	作ってあそぼう わくわくランド	市内保育士	8月20日(土)	未就学児

### スクールプログラム

5 プログラムを実施予定。その他、依頼があれば随時実施。

担当：安部沙耶香(当館学芸員)、久保田知美(当館嘱託員)

No	プログラム名	講師	日程	対象
1	先生のための美術鑑賞広場～ガラス展～	当館学芸員	5月8日(日)	小・中・高・特別支援学校の教職員
2	先生のための美術鑑賞広場～トリックアート展～	当館学芸員	8月2日(火)	小・中・高・特別支援学校の教職員
3	中学生ボランティアによるワークショップ～プレ	当館学芸員	8月3日(水)	中学・高校生
4	平塚市小学校図工部会研修	当館学芸員	8月中を予定	小・中・高・特別支援学校の教職員
5	教員向け体験講座「からくり屏風作り」	長谷部雄三他	8月中を予定	小・中・高・特別支援学校の教職員

## 対話による美術鑑賞事業

将来、市内の全小学校との連携を行うことを視野にいれ、第二期ボランティア 20 名を募集し、28 年度は 11 月から 1 月にかけて、3 校で対話による美術鑑賞を実施する予定。